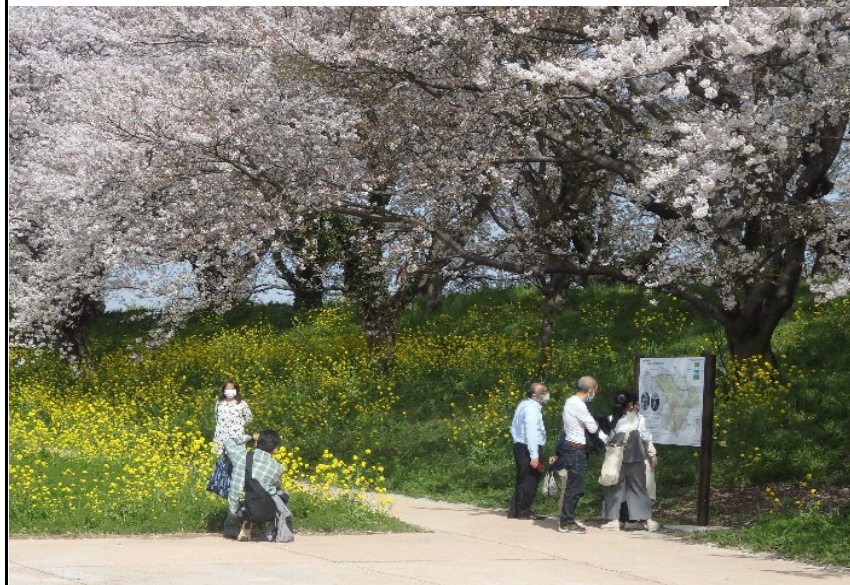


よしみコスモスまつり
での広報活動



さくら堤公園を訪れる
観光客へ情報発信



来訪する方やサイクリストへ
憩いと安らぎの場の提供

お問い合わせ先

○埼玉県東松山農林振興センター農村整備部

東松山市六軒町5-1

TEL 0493-23-8583

○吉見町役場 まち整備課・産業振興課

比企郡吉見町大字下細谷411

TEL 0493-63-5020

川の国埼玉はっらっプロジェクト「文覚川地区」

吉見町

～水と共に暮らす町を知る拠点づくり～



さくら堤公園と文覚川



春



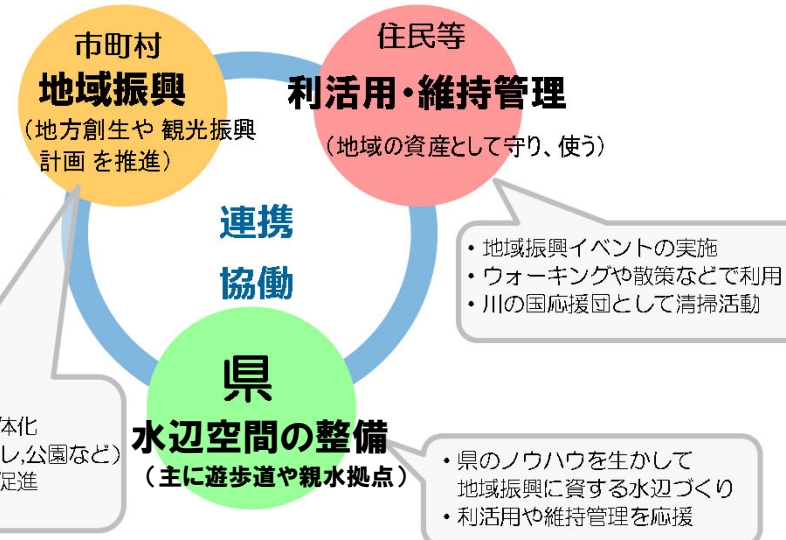
秋

事業概要

事業のポイント

- ・協働の仕組みを継承
- ・市町村の地域振興と連携させ、効果を拡大
- ・県内各地で利活用を推進し、様々な川の魅力を実感できる
- ・水辺の質を向上させ、地域の共有資産に成長

- ・県へ事業提案
- ・協議会を運営して提案を具体化
- ・振興施設整備（駐車場、トイレ、公園など）
- ・イベント企画などで利活用促進
- ・住民等と維持管理



地域住民、市民団体と行政による取組内容の検討

文覚川を活かした地域づくりについては、関係機関や団体等を構成員とする推進協議会を立ち上げ、具体的な普及啓発や活用策を検討のうえ、農業農村の理解を深める整備計画づくりや整備後の普及啓発と活用を進めます。

	開催日時		意見交換の内容
第1回	平成29年度	7月3日	事業内容説明・今後のスケジュール・遊歩道整備について
第2回		1月30日	整備内容（案）について・整備後の維持管理事例報告・地元住民にアンケート実施
第3回	平成30年度	10月25日	遊歩道整備について・公園整備について・整備後の管理について
第4回	令和元年度	2月13日	事業構想について・整備について・公園整備について・アンケート結果について

協議会構成メンバー
荒子上・下自治会
飯島新田自治会
権平維持管理組合
さくら祭り実行委員
町議会議員
地元公民館長
地元小学校校長
吉見町青年団
吉見領土地改良区
吉見町
埼玉県



利活用（やりたいこと）

必要なもの（ハード）

必要なもの（ソフト）

① 遊歩道の整備（環境整備）

- サイクリングロードとの分離
- 桜と共に水辺とさくら堤公園の花を楽しむ

② 既存の駐車場を利用した農村・親水広場の整備

- 農業農村の学習施設
- サイクリスト休憩施設

③ 水と共に暮らす町を知るサイクリングルートの設定

- 町内外から訪れるサイクリストをサイクリングルートに誘導

サイクリングルートの整備
遊歩道・環境護岸整備
案内標識の整備

農村・親水広場の整備
学習施設の整備（看板）

さくら堤公園の整備
駐車場整備
トイレ新築

用水や治水など、水と共に暮らす町を知るサイクリングルートの案内
観光パンフレットへの掲載

農業農村の振興
農業農村の学習施設の利用
排水機場の視察等

情報発信
町ホームページ等の活用

（赤字：県、青字：町が実施するもの）

目標・成果指標について

■ 緑と調和した水辺空間を活かした農業農村に対する理解度の向上

成果指標	整備前（H28）	整備後（目標）	整備後（R2現在）
サイクリストによる農村・親水広場の来訪者数	—	30人/日	143人/日
桜まつり開催時の来訪者数	—	100人/日	252人/日
理解度について事業前後でアンケート調査を実施	—	50%以上	75%

■ 管理団体（多面的機能支援事業等）の設立

成果指標	H28	整備後（目標）	整備後（R2現在）	増加数
整備後に管理する団体の設立	0団体	1団体以上	1団体	1

事業効果

■ これまでは、自転車道と歩道が分離されておらず、自転車との接触事故が発生しやすい状況であったが、遊歩道を整備したことで、安全性が確保できるようになりました。

■ 春のさくら堤公園は、桜はもとより菜の花で覆い尽くされます。川沿いの遊歩道を整備したことで、桜と菜の花のきれいな景色を眺めながら、水辺と親しむことができるようになりました。

■ サイクリストにも休憩スポットとしての利用ができるようになりました。

■ 用水・排水等の学習施設（看板）を設置したことで農業農村が発揮する多面的機能の重要性を理解することができ、農業農村の振興を図ることができます。



維持管理について

地元自治会や吉見町の地域活動団体により、文覚川沿いのさくら堤公園の清掃活動が実施されており、今後も町、土地改良区、地元自治会、地域活動団体が連携して、維持管理していきます。

■ 内容と役割分担

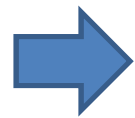
- 遊歩道及び農村・親水広場
 - 清掃活動・・・地元自治会、地域活動団体等
 - 雑草刈払・・・地元自治会等、町
 - 施設補修・・・町、土地改良区



整備前後の比較

Before

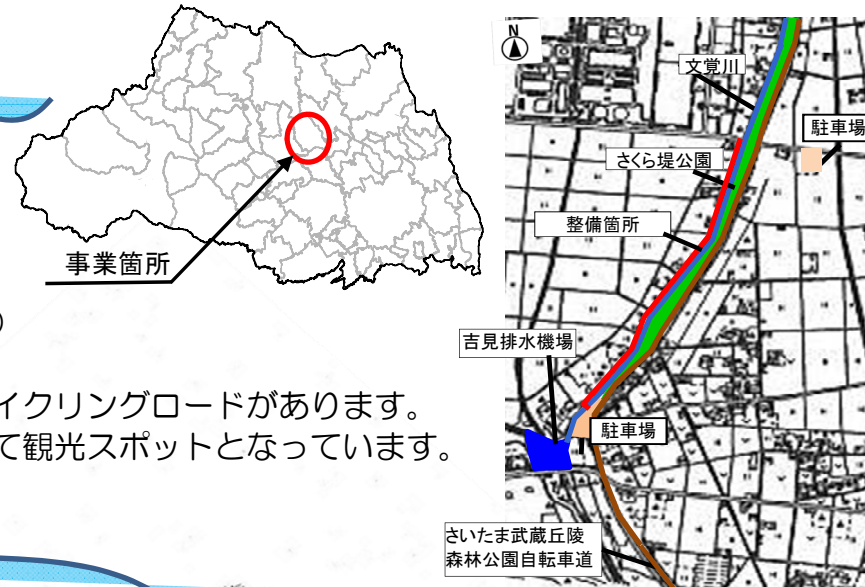
After



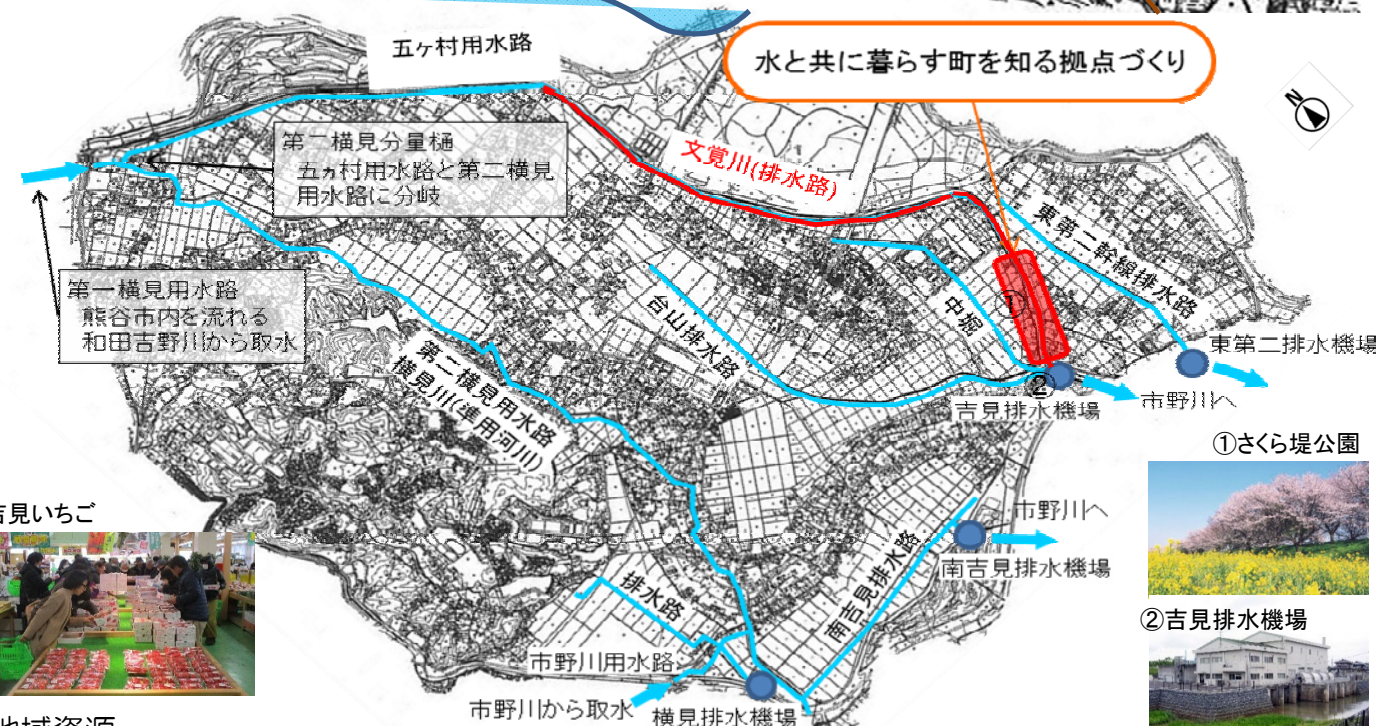
川とまちの状況

文覚川の概要

- 町内の文覚川は延長5.4km (事業実施区域は1.1km)
- 活動団体 3団体 (土地改良区、自治会、地域活動団体)
- 川の特徴
 - ・ 文覚川に隣接してさくら堤公園とサイクリングロードがあります。
 - ・ 堤沿いにある桜並木は桜の名所として観光スポットとなっています。



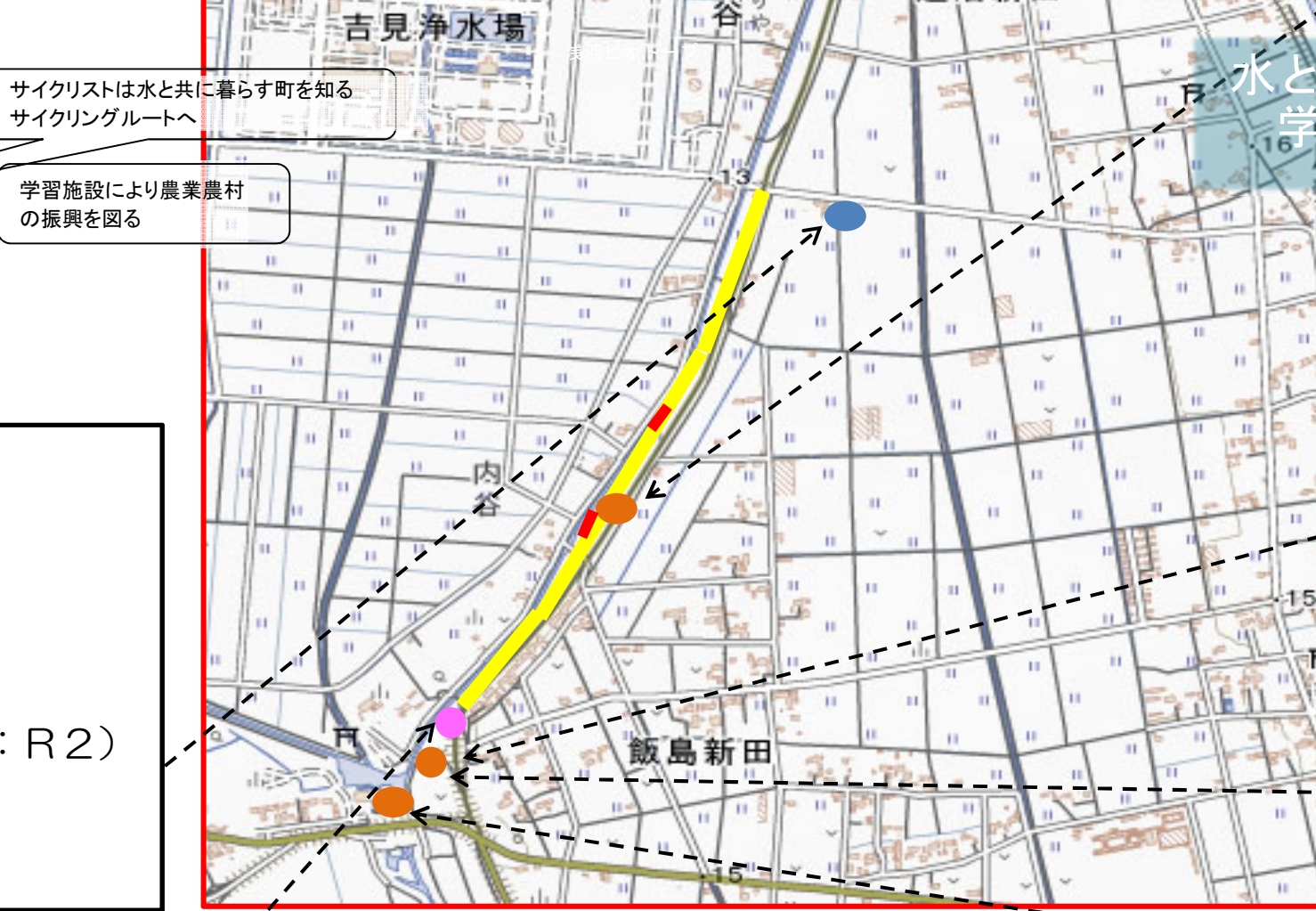
まちの状況



- 地域資源
 - ・ 農業は町の基幹産業で、特にいちごは遠方から買いに来るほど、名産品として高い評価を受けています。
 - ・ 吉見町は埼玉県のほぼ中央に位置し、東に荒川、西南に市野川が流れ、古くから水との関わりがある町です。
 - ・ 用水として、西部の丘陵地はため池、その他の平坦な地域は河川水や地下水が使われており、地域の特色を活かした水の利用がされています。
 - ・ 荒川と市野川の堤防に囲まれているため、古くから水害に悩まされてきた町でもあり、水害と闘ってきた歴史があります。
 - ・ このため吉見町では農業基盤づくりに力を入れ、排水施設の整備により湛水被害は激減しています。



地域の農業用水についての説明



サイクリストは水と共に暮らす町を知るサイクリングルートへ

学習施設により農業農村の振興を図る

水と共に暮らす町を知る学習施設等(看板)

吉見町の水害への取り組みの説明



「水と共に暮らす町を知る」サイクリングルートの説明



整備内容

県：文覚川整備	1130m (H29~R2)
環境護岸整備	41m (H30)
遊歩道整備	983m (H30~R1)
付帯工	一式 (R2)
町：学習施設(看板)	3基 (2基：R1、1基：R2)
駐車場整備	1箇所 (R1)
トイレ新設	1箇所 (R2)

- 遊歩道
- 環境護岸
- 学習施設等(看板)設置
- 駐車場整備
- トイレ新設

